

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2019/6/5

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	5/27	0	10.0	32.15	0	0	0	30	0	
太平洋中部		10	7.0	32.75	0	0	0	0	0	
8.0		20	3.0	32.57	0	0	0	0	10	Dn10
		30	1.2	32.74	0	0	0	0	0	
鹿部	5/24	0	11.8	32.08	0	10	0	0	0	
噴火湾湾口部		10	9.4	32.14	0	0	0	30	0	
12.0		20	7.3	32.39	0	20	0	20	10	Dn10
		30	5.6	32.45	0	20	0	0	10	Dn10
		40	3.9	32.69	0	0	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディ

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテユンダータ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現していますが、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部および噴火湾湾口部に出現しています。

太平洋中部の5月下旬の水温は1.2~10.0°C、噴火湾湾口部の5月下旬の水温は3.9~11.8°Cです。

(担当:夏池真史・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2019/5/27

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 12.5	5/13	0	5.9	31.87	10	0	0	0	0	
		10	3.2	32.29	0	0	0	0	30	Dn30
		20	2.0	32.48	0	0	0	0	0	
		29	1.2	32.64	0	0	0	0	0	30mで測器着底のため、29mで採水
虻田 噴火湾東部 8.0	5/21	0	11.6	32.01	10	0	0	190	0	
		5	11.5	32.13	0	0	0	270	0	
		10	11.4	32.16	0	0	10	100	0	
		15	11.3	32.17	0	0	0	110	0	
		20	11.3	32.23	0	0	20	70	10	Dn10
25	10.4	32.22	0	0	0	160	0			
八雲 噴火湾西部 9.3	5/25	0	13.5	28.93	20	0	0	180	0	
		5	13.2	31.98	0	0	0	10	10	Dru10
		10	11.4	32.08	10	0	10	80	0	
		15	10.0	32.13	0	80	10	60	10	Dru10
		20	8.8	32.31	20	30	0	90	0	
		25	7.9	32.36	0	100	0	160	0	
30	7.0	32.39	0	40	0	40	10	Dn10		
知内 津軽海峡 11.0	5/24	0	13.4	33.91	0	0	0	0	10	Dro10
		10	11.5	33.92	0	0	60	20	0	
		20	10.7	34.08	0	0	50	10	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルディイ

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス フォルティイ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ディノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ディノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部および噴火湾西部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部および津軽海峡に出現しています。

太平洋中部の5月中旬の水温は1.2~5.9°C、噴火湾東部の5月下旬の水温は10.4~11.6°C、噴火湾西部の5月下旬の水温は7.0~13.5°C、津軽海峡の5月下旬の水温は10.7~13.4°Cです。

(担当:夏池真史・金森 誠)

貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2019/5/14

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ao 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.0	4/24	0	3.7	32.45	0	0	0	0	20	Dn10,Dro10
		10	3.0	32.31	0	0	0	20	30	Dn30
		20	1.7	32.47	0	0	0	0	0	
		30	1.4	32.51	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 13.5	5/7	0	8.1	32.02	0	0	0	30	30	Dn30
		5	6.3	32.41	0	0	0	20	0	
		10	4.6	32.42	0	0	0	0	0	
		15	4.2	32.50	0	0	0	0	10	Dn10
		20	3.7	32.56	0	0	0	0	0	
		25	3.3	32.58	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 12.0	5/8	0	7.8	32.32	0	40	0	20	0	
		10	7.5	32.33	0	0	0	30	0	
		20	4.9	32.56	0	10	0	0	0	
		30	3.1	32.74	0	10	0	0	0	

At=*Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム タマレンセ =旧名 フロゴニオラックス タマレンシス

Ao=*Alexandrium ostenfeldii* アレキサンドリウム オステンフェルトイ

Df=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部と噴火湾東部に出現していませんが、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部と噴火湾東部および噴火湾西部に出現しています。

太平洋中部の4月下旬の水温は1.4~3.7°C, 噴火湾東部の5月上旬の水温は3.3~8.1°C, 噴火湾西部の5月上旬の水温は3.1~7.8°Cです。

(担当:夏池真史・金森 誠)